

第118期 中間報告書

(2024.4.1 ⇒ 2024.9.30)

Contents

- P1 トップメッセージ・財務ハイライト
- P3 営業概況
- P4 連結財務諸表
- P5 会社概要・株式状況

中間・期末報告書（株主通信）は、昨今のインターネット等の普及及び地球環境への配慮の観点から、書面での郵送を廃止し当社ウェブサイト内での掲載のみとさせていただきます。

詳しくは当社の適時開示をご覧ください。

<https://www.nipponkinzoku.co.jp/assets/images/2024/08/tdzz.pdf>





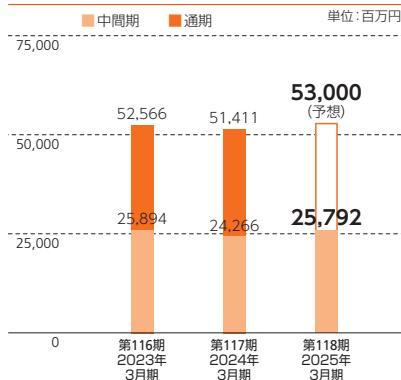
第11次経営計画「NIPPON KINZOKU 2030」で掲げたビジョン、『人と地球にやさしい新たな価値を共創する「Multi & Hybrid Material」企業』の実現を目指します。

新事業アイテムを中心とした高収益差別化製品の拡大を推進し、高収益体質への転換に取り組むとともに、再生可能エネルギーの活用や、環境に貢献する技術・特性を有する当社独自の「エコプロダクツ製品」の販売増など、持続可能な社会の実現にも貢献します。

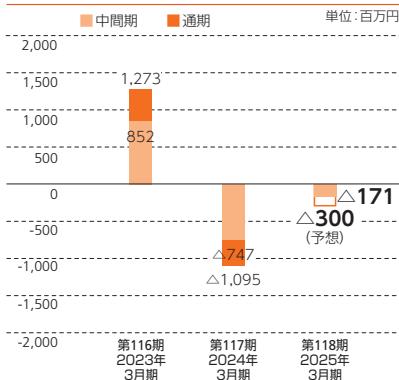
取締役社長 下川 康志

◆ 財務ハイライト (連結)

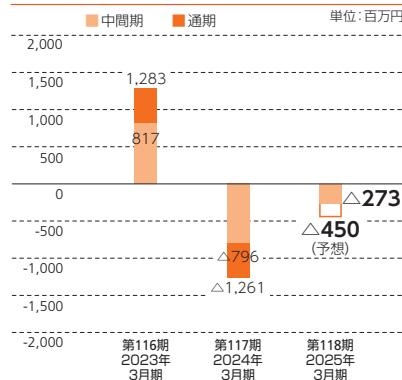
売上高



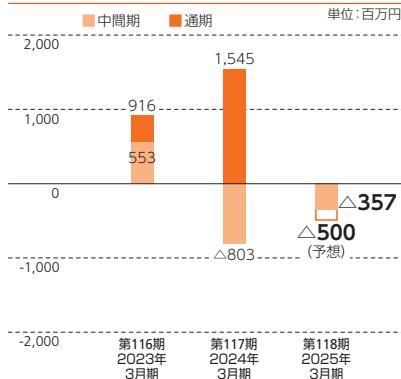
営業利益又は損失 (△)



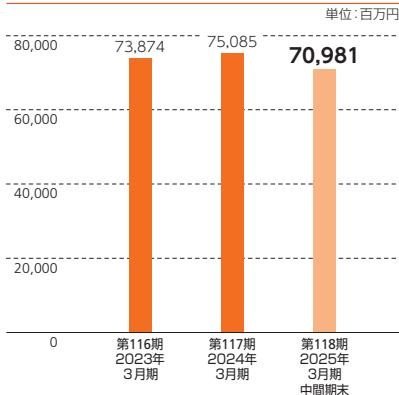
経常利益又は損失 (△)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益又は損失(△)



総資産



純資産



⇒ 当中間期の経営成績と業績について

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、インバウンド消費の拡大など全体として緩やかな回復基調が続いているものの、自動車分野での認証問題や建築分野での資材高騰や人手不足による着工遅れなど不安定な状況が続きました。また、世界経済は、不動産市場の低迷などを背景に中国での景気の回復が遅れており、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の深刻化などの地政学的リスクの高まりもあって、原材料、エネルギー、副資材、物流などの価格が高騰するなど、経済の先行きに対する不透明感が増す状況が続いております。

ステンレス業界におきましては、当社の主力取引先である自動車分野にて、国内では自動車メーカーの認証問題による自動車生産台数の低迷、海外では中国市場でのEV化への対応が遅れた日本車の販売不振や中国市場の低迷などの影響により需要の回復が大幅に遅れており、厳しい事業環境が継続しています。

このような状況のもと、当社グループは、原材料、エネルギー、副資材、物流などの諸コスト上昇を適時反映させた販売価格の是正、販売費及び一般管理費を含む事業コストの削減、生産効率の向上や品質改善など全社的な収益改善活動を推進してまいりましたが、自動車関連製品を中心とした需要低迷により大幅に減少した生産・販売数量の影響をカバーするには至りませんでした。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は、前年同期比15億2千6百万円（6.3%）増収の257億9千2百万円となりました。損益面につきましては、営業損益は1億7千1百万円の損失（前年同期は7億4千7百万円の損失）、経常損益は2億7千3百万円の損失（前年同期は7億9千6百万円の損失）、親会社株主に帰属する中間純損益は3億5千7百万円の損失（前年同期は8億3百万円の損失）となりました。

⇒ 配当について

配当につきましては、2024年5月13日に開示いたしました配当予想のとおり、中間配当は見送りとし、期末配当につきましても無配の予想とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、一刻も早く業績を回復し、配当を再開させるべく、グループ一丸となって改善に取り組んでまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

⇒ 通期の見通し

当中間期において、みがき帯鋼事業における主要取引先である自動車関連産業にて、国内では自動車生産台数の回復が緩和傾向にあるものの、販売数量の回復は限定的なものとなりました。また、中国市場の低迷の長期化による需要の回復は大幅に遅れており、中間期の売上高は減少いたしました。下期においても同様に、自動車関連産業における販売回復の遅れが見込まれ、収益を押し下げる影響等が懸念されます。

当社グループにおきましては、お客様の成形・表面処理加工の向上を実現させる新製品の開発・拡販とともに、生産効率の改善・品質改善及び諸コスト上昇を反映させた販売価格の是正、徹底したコストダウンに努めてまいりましたが、通期業績予想を修正することいたしました。

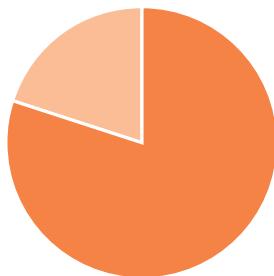
通期連結業績予想数値につきましては、2024年10月31日に開示いたしましたとおり、売上高530億円、営業損益3億円の損失、経常損益4億5千万円の損失、親会社株主に帰属する当期純損益5億円の損失と予想しております。

当社グループといたしましては、第11次経営計画「NIPPON KINZOKU 2030」を推進し、新たなニーズに対応する新技術・新製品を主力とする事業構造へのシフトを進めることで、業績の早期回復に努めておりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別概況

◆ みがき帯鋼事業

売上高比率
80.1 %



冷間圧延ステンレス鋼帯につきましては、当社の主力取引先である自動車関連用途は、当社の主力輸出先である中国で景気低迷が続く中、当社シェアの高い欧米車や日本車の非EV車の販売が低迷したことに加え、現地ステンレス鋼帯メーカーが低コストを武器にシェアを拡大したことにより、販売数量の減少が継続しました。一方で、AIの普及によるデータセンターの拡大に伴うサーバー用ハードディスクや冷却ファン用精密ベアリングに加え、コイン電池などの電子部品関連の受注が回復しました。また、メタリック感を活かした黒加飾ステンレス（ファインブラック）は、国内大手自動車メーカーの高級車の外装用材への採用が更に

大し増加しました。

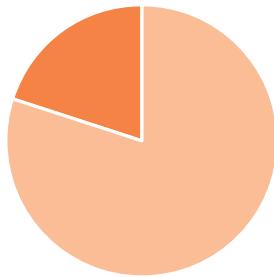
みがき特殊帯鋼につきましては、ステンレス鋼帯と同様に自動車関連の影響を大きく受け、販売数量は伸びを欠く結果となりました。また、北米市場の金利上昇を受けた住宅販売件数の減少に伴い、主に内装で使用する刃物用途で販売数量の低迷が継続しました。

原材料価格やエネルギー・副資材などの製造コストの上昇に対しては、全ての変動要因に対し販売価格へ反映させる指標を策定し、労務費増や物流費増などについても販売価格への反映を進めています。更に、付加価値に見合った適正な価格への是正も継続的に進め、収益性の維持に努めました。

以上の結果、みがき帯鋼事業の売上高は、前年同期比14億3千万円（7.4%）増収の206億6千8百万円、営業損益は2億9千1百万円の利益（前年同期は3億7千7百万円の損失）となりました。

◆ 加工品事業

売上高比率
19.9 %



福島工場取扱製品につきましては、主力の自動車駆動部品用高精度異形鋼製品は、自動車の電動化の流れを受けた需要減少に伴う主力海外ユーザーの事業縮小により、販売数量が減少いたしました。一方で、半導体装置向けの産業機器製品や当社フォーミング部材が堅調に推移しました。また、生産工場等の径路（キャットウォーク）向けで、耐摩耗性と軽量化に加え、意匠と対滑り性の機能を実現した平鋼製品の受注が再開いたしました。

岐阜工場取扱製品につきましては、医療機器、計測機器・分析機器や半導体製造装置向けで、従来の加工技術を更に細径まで深化させ開発した内面高精度管が

国内外で更に拡大し、自動車関連用途では、内燃機関(ICE)を有する自動車の減産はあるものの、環境対応装置向けが堅調に推移しました。また、インバウンドの回復に伴う外食産業向け飲料機器用途の需要も回復しました。一方で、文具向けパイプは当社ユーザーの欧州・中国向けが景気減速に伴う販売の低迷による製品在庫調整もあり減少いたしました。

以上の結果、加工品事業の売上高は、前年同期比9千6百万円（1.9%）増収の51億2千3百万円、営業利益は前年同期比1億8千4百万円（63.9%）減益の1億4百万円となりました。

連結財務諸表

➤ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期 2024年9月30日	前期 2024年3月31日
(資産の部)		
流動資産	38,326	42,551
固定資産	32,655	32,533
有形固定資産	28,106	28,264
無形固定資産	121	120
投資その他の資産	4,426	4,148
資産合計	70,981	75,085
(負債の部)		
流動負債	28,515	30,444
固定負債	15,582	17,777
負債合計	44,098	48,222
(純資産の部)		
株主資本	18,603	18,961
資本金	6,857	6,857
資本剰余金	986	986
利益剰余金	10,770	11,128
自己株式	△ 10	△ 10
その他の包括利益累計額	8,280	7,901
その他有価証券評価差額金	1,528	1,424
土地再評価差額金	6,077	6,077
為替換算調整勘定	908	651
退職給付に係る調整累計額	△ 233	△ 251
純資産合計	26,883	26,863
負債・純資産合計	70,981	75,085

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

➤ 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期		前中間期	
	自 至	2024年4月1日 2024年9月30日	自 至	2023年4月1日 2023年9月30日
売上高		25,792		24,266
売上原価		23,322		22,361
売上総利益		2,469		1,904
販売費及び一般管理費		2,641		2,652
営業損失(△)	△	171	△	747
営業外収益		142		103
営業外費用		244		152
経常損失(△)	△	273	△	796
特別利益		0		104
特別損失		109		17
税金等調整前中間純損失(△)	△	382	△	710
法人税、住民税及び事業税		127		133
法人税等調整額	△	151	△	39
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△	357	△	803

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

➤ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期		前中間期	
	自 至	2024年4月1日 2024年9月30日	自 至	2023年4月1日 2023年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,009	△	1,343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	722	△	1,966
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	1,619		704
現金及び現金同等物に係る換算差額		116		104
現金及び現金同等物の増減額	△	1,217	△	2,500
現金及び現金同等物の期首残高		11,875		8,035
現金及び現金同等物の中間期末残高		10,658		5,535

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要・株式状況

➤ 会社概要 (2024年9月30日現在)

創業	業	1930年11月10日
設立	立	1939年12月2日
本店所在地		東京都板橋区舟渡四丁目10番1号
本社事務所		東京都港区芝五丁目29番11号 G-BASE田町10・11階 (総合受付11階) 電話 (03) 5765-8111 (大代表)
資本金		68億5千7百万円
連結従業員数		857名
当社従業員数		583名

➤ 役員 (2024年9月30日現在)

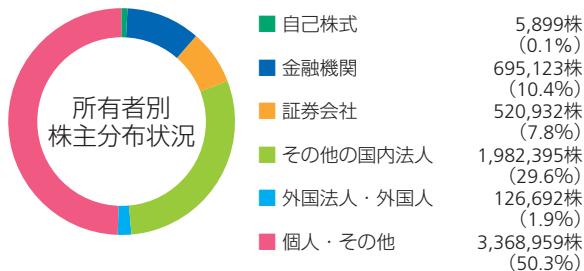
取締役社長 (代表取締役)	下川康志	社外取締役 (独立役員)	小川和洋
専務取締役	原田喜弘	社外取締役 (独立役員)	永塚良知
専務取締役	山下匡史	社外取締役 (独立役員)	假屋ゆう子
常務取締役	長谷川伸一	常勤監査役	進藤紀充
常務取締役	山崎 修	社外監査役 (独立役員)	砂山晃一
		社外監査役	浦上純一郎

➤ 株式の状況 (2024年9月30日現在)

- ① 発行可能株式総数 24,000,000株
- ② 発行済株式総数 6,694,101株
(自己株式5,899株を除く)
- ③ 株主数 5,214名
(うち、単元株主数 4,611名)
- ④ 大株主

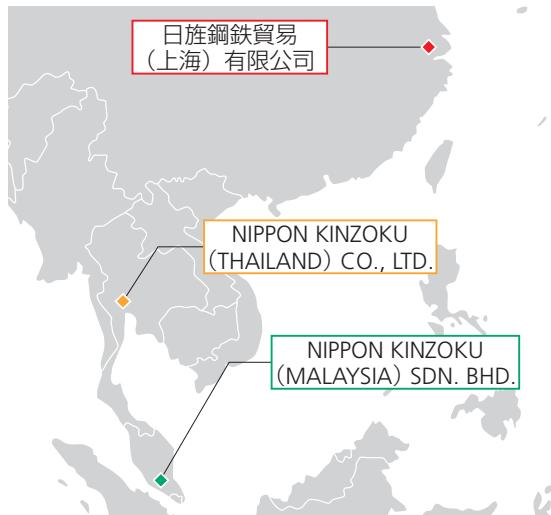
株主名	持株数	持株比率
	百株	%
日鉄ステンレス株式会社	8,725	13.0
日本金属取引先持株会	6,574	9.8
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	3,787	5.7
株式会社SBI証券	3,332	5.0
山本知宏	2,009	3.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,214	1.8
株式会社アドバネクス	1,025	1.5
A S A D A 株式会社	1,000	1.5
株式会社みずほ銀行	1,000	1.5
日本証券金融株式会社	952	1.4

(注) 持株比率は自己株式(5,899株)を控除して計算しております。



➤ 事業所 (2024年9月30日現在)

- ◆ **本社事務所**
東京都港区芝五丁目29番11号 G-BASE田町10・11階
(総合受付11階)
〒108-0014 電話 (03) 5765-8111 (大代表)
- ◆ **大阪支店**
大阪府大阪市中央区淡路町三丁目6番3号 御堂筋MTRビル
〒541-0047 電話 (06) 7711-6133 (代表)
- ◆ **名古屋支店**
愛知県名古屋市中区新栄町一丁目1番地 明治安田生命ビル
〒460-0004 電話 (052) 962-6671 (代表)
- ◆ **板橋工場**
東京都板橋区舟渡四丁目10番1号
〒174-8560 電話 (03) 3968-6300 (代表)
- ◆ **岐阜工場**
岐阜県可児市姫ヶ丘二丁目24番地
〒509-0249 電話 (0574) 63-1071 (代表)
- ◆ **福島工場**
福島県白河市東釜子字鹿島1番地
〒961-0303 電話 (0248) 34-2961 (代表)



グループ会社

(日本)

- ◆ 日金スチール株式会社
- ◆ 日金精整テクニックス株式会社
- ◆ 日金電磁工業株式会社
- ◆ 株式会社セフ

(海外)

- ◆ 日旌鋼鉄貿易 (上海) 有限公司
- ◆ NIPPON KINZOKU (THAILAND) CO., LTD.
- ◆ NIPPON KINZOKU (MALAYSIA) SDN. BHD.

➔ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	当社の特別口座の口座管理機関みずほ信託銀行へお問い合わせをお願いします。 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金のお支払	右記みずほ信託銀行までお問い合わせをお願いします。	ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ	お取引の証券会社又は右記みずほ信託銀行までお問い合わせをお願いします。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。

単元株式数 100株

公告方法 当社のホームページ (<https://www.nipponkinzoku.co.jp>) に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場取引所 東京証券取引所スタンダード市場



日本金属株式会社

本社事務所 〒108-0014 東京都港区芝五丁目29番11号 G-BASE田町10・11階(総合受付11階)
 TEL. (03) 5765-8111 (大代表) FAX. (03) 5765-8116

<https://www.nipponkinzoku.co.jp>

➔ ホームページのご案内



<https://www.nipponkinzoku.co.jp>

「株主便り」公開のお知らせ

9月30日に当社ウェブサイト内の「株主通信・株主便り」のページに「株主便り」を掲載しました。「株主便り」は株主・投資家の皆様とのコミュニケーション強化の一環として、毎年3月・9月にウェブサイト内で公開する冊子です。是非ご覧ください。
<https://www.nipponkinzoku.co.jp/investor-relations/note>



日本金属公式YouTubeチャンネル

会社・各工場紹介動画をご覧いただけます。

➔ 主要製品

事業	主要製品
みがき帯鋼	冷間圧延ステンレス鋼帯、みがき特殊帯鋼、マグネシウム合金帯
加工品	型鋼・精密異形鋼等ロール成形品、ステンレス精密細管、電磁製品